



REAR CAMERA ADAPTER

RCA004H

リアカメラ接続アダプター 取付/取扱説明書



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

- リアカメラ接続アダプター × 1
- RCA変換アダプター × 1
- 結束バンド × 2
- エレクトロタップ × 2
- 両面テープ × 1
- 取付/取扱説明書(本書) × 1

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ(PC)

<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>



メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2

■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

注意事項

本書には取り付け/取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。



重要

本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- 取り付けのモニター(ナビゲーション)にリアカメラ入力端子(ピンジャック)があることを確認してください。
- 必要な場合はビデオ延長ケーブルを別途ご購入してください。
- ガイドラインはモニター(ナビゲーション)で設定してください。モニター(ナビゲーション)にガイドラインの表示機能がない場合には表示できません。



注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計などのメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまう内容のメモリー内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターやチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けしている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内の音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクターを外すときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクターの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません。あらかじめご了承ください。

取り付け方法

この取付説明は、新しいモニター(ナビゲーション)が取り付けられていること、またモニターユニットにリアカメラ入力端子(ピンジャック)があることを前提にしています。

モニターとは別のユニットにリアカメラ入力端子がある場合は、別途延長ケーブルを用意してください。本製品の接続をはじめる前に、モニターにバックランプ電源(バック信号)が接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、先に接続してください。

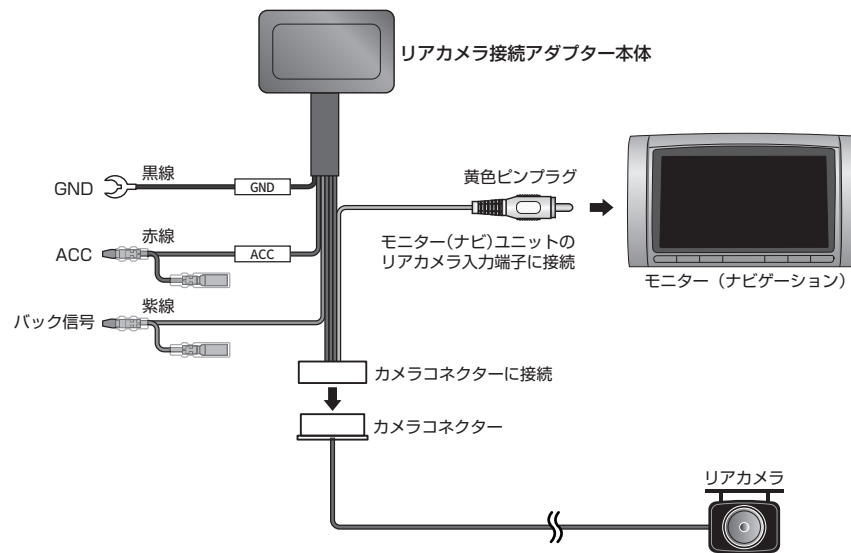
1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. モニター(ナビゲーション)を外します。
3. モニター(ナビゲーション)裏側に配線されていたカメラコネクタと本製品のコネクタを接続します。
4. 本製品から出ている3本の配線を接続します。赤線はACC電源に、黒線はボディアースに、紫線をバック信号に接続します。
5. 本製品の黄色ピンプラグを現在使っているモニター(ナビゲーション)のリアカメラ入力端子に接続します。
6. 新しいモニター(ナビゲーション)が動作する状態まで復元して、バッテリーマイナス端子を接続します。
7. シフトレバーを「R(リバース)」にして、新しいモニター(ナビゲーション)の画面がリアカメラに切り替わることを確認します。また、「R」以外にシフトを動かしたとき、リアカメラ映像から元の画面に戻ることを確認します。

❗重要 リアカメラの映像が映らない場合

- 電源、ボディアースの接続、カメラコネクタの接続、新しいモニター(またはナビ)に正しくバック信号が接続されているかなどを確認してください。
- 新しいモニター(またはナビ)の説明書にてリアカメラ追加時に設定変更の有無をご確認ください。

8. コード類を取り回し、取り外したパネル類を元に戻し取付作業は終了です。

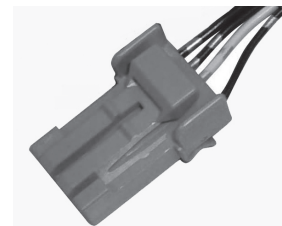
接続概要図



本製品を接続するコネクタ

本製品は、モニター(ナビゲーション)裏側にある既設のカメラコネクタ(5ピンコネクタ)に接続します。(下図参照)

車両側カメラコネクタ(5ピンコネクタ)



マツダ アテンザ(H24.11～) バックカメラ設定方法

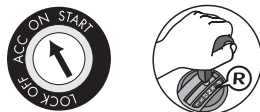
マツダ アテンザ(H24.11～)に本製品を接続した場合、バックカメラの設定が必要です。

アテンザ

アテンザセダン	GJEFP / GJ5FP / GJ2FP	H24.11～H26.12
アテンザワゴン	GJEFW / GJ5FW / GJ2FW	H24.11～H26.12

1. イグニッションスイッチをONにして、シフトレバーを[R(リバース)]にします。

※ナビゲーション画面に調整モードが表示されます。



2. ウィンカー操作でカーソルを[手動]に移動させ、パッシング操作します。

カーソル操作方法

カーソルを下に動かす: ウィンカー操作(右)
カーソルを上動かす: ウィンカー操作(左)
決定する: パッシング操作

調整モード		No.1
工場調整	ENG LISH	
舵角調整	自動	
バックカメラ光軸調整	手動	
フロントカメラ光軸調整	検査	
サイドカメラ光軸調整	設定	
信号接続画面	完了	
VER 2.0		

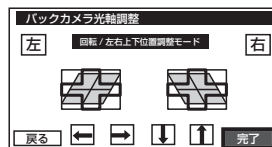
3. ウィンカー操作でカーソルを[工場調整]に移動させ、パッシング操作します。

※バックカメラ光軸調整画面が表示されます。

調整モード		No.1
工場調整	ENG LISH	
舵角調整	自動	
バックカメラ光軸調整	手動	
フロントカメラ光軸調整	検査	
サイドカメラ光軸調整	設定	
信号接続画面	完了	
VER 2.0		

4. ウィンカー操作でカーソルを[完了]に移動させ、パッシング操作すると、バックカメラのカメラ映像が表示されます。

※カメラ映像が表示されるまで20秒程度かかります。



5. シフトレバーを[P(パーキング)]に戻して、イグニッションスイッチをOFFにします。



6. イグニッションスイッチをONにして、シフトレバーを[R(リバース)]にします。

※ナビゲーション画面に調整モードが表示されます。

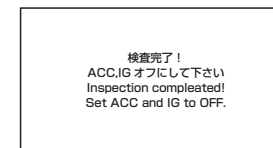
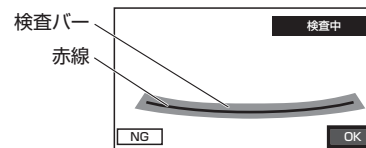


7. ウィンカー操作でカーソルを[検査]に移動させ、パッシング操作します。

調整モード		No.1
工場調整	ENG LISH	
舵角調整	自動	
バックカメラ光軸調整	手動	
フロントカメラ光軸調整	検査	
サイドカメラ光軸調整	設定	
信号接続画面	完了	
VER 2.0		

8. ヘッドライトを点灯させ、検査バーに[赤線]が入っていることを確認したあと、ウィンカー操作でカーソルを[OK]に移動させ、パッシング操作します。

※「検査完了」画面が表示されます。



9. 「検査完了」画面が表示されたあと、ヘッドライトを消灯させ、シフトレバーを[P(パーキング)]に戻して、イグニッションスイッチをOFFにします。



10. エンジンを始動させたあと、シフトレバーを[R(リバース)]にします。

※バックカメラの映像が表示されます。



危険 ●不用意に車が動かないように輪留めを使用し、サイドブレーキをしっかりとかけてください。また、ブレーキペダルから足が離れないようにしてください。



11. ステアリングを操作したときに、ステアリング連動ガイドラインが動くことを確認して終了です。

